

## 香川県三豊市の実証事業「粟島スマートアイランド推進協議会」へ参画 ～離島の課題解決を図るための実証調査を実施します～

2020年10月5日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、以下あいおいニッセイ同和損保）およびMS & ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：中村 光身、以下 MS & ADインターリスク総研）は、香川県三豊市の実証事業「粟島スマートアイランド推進協議会」に参画し、離島島民の課題解決を図るための実証調査を実施します。

### 1. 背景

日本には400を超える有人離島があり、そのほとんどの島は人口減少および高齢化の進展により「移動」、「物流」、「医療」のあり方に多くの課題を抱えています。今回の実証事業の舞台である「三豊市粟島」は、島内における公共交通手段がなく、自家用車を所有しない島民にとっては、徒歩や航路で島の中心地や診療所へ移動しなければならないなど不便な環境となっています。また、先般の新型コロナウイルス感染症対策による国の緊急事態宣言後は、これら離島への渡航自粛も重なり、日々の生活において十分な医療サービスが受けられない深刻な状況が続いています。さらに、万一の大規模災害時には、ライフラインを担う汽船の運航休止により物流もストップするため、島民の生活に不可欠な食料品および医療品等の物流サービスの確保が大きな課題となっています。

一般、あいおいニッセイ同和損保とMS & ADインターリスク総研は、これら社会課題の解決の一助となるべく、「三豊市粟島」で行われる実証事業に参画し、「移動」「物流」「医療」という観点から、持続可能な島内インフラの確立、島民が豊かに暮らし続けることができる環境づくりを支援するとともに、離島地域の活性化に貢献していきます。

### 2. 実証事業概要※1

- (1) グリーン・スロー・モビリティ (GSM) ※2 を活用した島内移動の確立
- (2) 新しい通信インフラによる輸送サービスの確立
- (3) ICTによる新しい医療体制の確保

なお、本事業は、令和2年度国土交通省が公募したスマートアイランド推進実証調査業務（三豊市）の採択を受け実施するものです。

※1 詳細は別紙参照

※2 時速20km未満で公道を走る事が可能な4人乗り以上の電動パブリックモビリティ

### 3. 実証事業における役割

- (1) あいおいニッセイ同和損保は、本年7月30日に株式会社かもめや、国立大学法人香川大学とともに行った「遠隔診療・無人ドローン配送実証実験」※3での知見を活かし、実証実験に係るリスクへの対応を行うとともに、ドローン管制システム等に対応する保険商品・サービスの開発を通じ、地域課題解決への貢献を目指します。
- (2) MS & ADインターリスク総研は、無人移動体伝送システム※4による医薬品や食品等の無人輸送サービス実証において、これまでのCASE、MaaS領域でのリスクマネジメントに関する知見等を提供し、安心・安全な実証を支援するとともに、持続可能な環境づくりと離島地域の活性化に貢献していきます。

※3 遠隔診療・無人ドローン配送実現に向けた実証実験開始について

([https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news\\_2020072000706.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news_2020072000706.pdf))

※4 無人移動体伝送システム：株式会社かもめやが開発・提供する、飛行中のドローンの周辺映像、機体情報などを監視するドローン専用の通信システム

### 4. 今後の展開

あいおいニッセイ同和損保およびMS & ADインターリスク総研は、今後も、各地域の実証実験への参画を通じて、地域課題の解決に向けた保険会社の役割について検討を進め、安全・安心・快適な街づくりへ貢献していきます。

### **あいおいニッセイ同和損保の概要**

企業名 : あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

URL : <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

所在地 : 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

設立 : 1918年6月30日

事業内容 : MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社の中核事業会社として、自動車保険、火災保険、傷害保険などの引き受けを行っています。企業メッセージとして掲げる『全力サポート宣言 (3つの宣言「迅速」「優しい」「頼れる」)』を実践し、明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする「特色ある個性豊かな会社」を目指しています。

### **MS & ADインターリスク総研の概要**

企業名 : MS & ADインターリスク総研株式会社

URL : <https://www.irric.co.jp/index.php>

所在地 : 東京都千代田区神田淡路町 2-105 ワテラスアネックス (10~11階)

設立 : 1993年1月4日

事業内容 : コンサルティング・受託調査研究・セミナーの開催 / 講師派遣・出版

以上

プロジェクトの名称：栗島スマートアイランド推進プロジェクト

団体名：栗島スマートアイランド推進協議会【三豊市、穴吹エンタープライズ株式会社、三井物産オートモーティブ株式会社、株式会社電脳交通、ユビ電株式会社、株式会社かもめや、メロディ・インターナショナル株式会社、国立大学法人香川大学 瀬戸内圏研究センター、一般社団法人香川医師会、香川県済生会 離島医療福祉研究会、国立大学法人香川大学 法学部 肥塚研究室、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社】

## ■事業の目的、目標、着眼点

栗島は、島内における公共交通手段がなく、自家用車を所有しない島民にとっては、徒歩や航路で島の中心地や診療所へと移動する不便な環境となっている。一方で、栗島は近年、瀬戸内国際芸術祭の開催や一般社団法人 TARA JAPAN との連携協定など、「アート」・「環境」をキーワードに地域の活性化が進んでいる島でもある。

今回の実証事業によって、「移動」・「医療」・「物流」という観点から、今後、持続可能な島内インフラを確立し、島民が豊かに暮らし続けられる環境をつくとともに、離島地域の活性化を目指す。

また、栗島は、少子高齢化や人口減少が進む三豊市の将来の縮図であるともいえる。本実証では、本市が目指す、多極分散型ネットワークのまちづくりや、With コロナに表現される新しい生活様式に適したまちづくりに必要な生活インフラの実証を行うことも目的とする。

## ■具体的な取り組み内容

### 1. グリーン・スロー・モビリティ (GSM) を活用した島内移動の確立

島内中心地、診療所や集落などの停留所を設定し、島内移動の確保に向け GSM による実証運行を行う。車載タブレットと連動するクラウド型予約・運行管理システムを導入し、管理工数軽減を図ると共に動態の可視化や人流データの把握を行う。

また、GSM の充電に使用する電力については GSM 本体から充電量を把握し、香川県内で創出された環境価値を充電量に充当する事で、島の景観を保ち、最低限のコストで栗島にあった交通インフラの脱炭素化をバーチャルに実現する。



### 2. 新しい通信インフラによる輸送サービスの確立

無人移動体伝送システムにより、ドローンによる医薬品や食品等の無人物流輸送を行うことで、将来的な陸・海・空における無人航行に向けた実証実験を行う。なお、目視外飛行に必要な気象ライブソリューションによる自然災害時の情報提供も視野に入れ、離島に適した通信インフラを検証する。

### 3. ICT による新しい医療体制の確保

診療所において医師不在の際、本土側にいる医師とオンラインで会話や診療を行い、服薬を含めたオンライン診療等、離島における遠隔医療システムを構築することで島民及び来訪者を含む医療体制の確立を目指す。



以上